かすみがうら市総合計画(後期基本計画)の体系

- 基本構想(平成 19 ~ 28 年度)

将来都市像 『きらきら いきいき ふれあい育む 豊かなめぐみ野』

基本理念 1. 豊かな自然を守り、生かした「ふるさと」と呼べるまちを目指して

- 2. 交通利便性や地域資源を生かした「活力」ある元気なまちを目指して
- 3. 各地域の持つ役割を大切にした「個性と連携」のまちを目指して

後期基本計画(平成 24 ~ 28 年度) - -

-重点プロジェクトー

今後5年間において重点的 かつ積極的に展開







前期基本計画が施行されてきた中で、市民が感じ、 想ってきたまちづくりの方向性に関する意見を集約

- 1. まちづくりアンケート
- 2. まちづくり座談会
- 3. 中学生と高齢者の交流ワークショップ

後期基本計画策定の視点

- ◇地域総合力を高め、ニーズを引き寄せる
- 一首都圏の中で存在感を高める"かすみがうら"へ-
- ◇都市成熟力を高め、暮らしやすさの満足度を高める
- 時代が求める方向性に合わせ施策を最適化する "かすみがうら"へー
- ◇市民協働力を高め、時代の荒波を協力して乗り越える 一 市民・事業者・行政との連携が力を発揮する "かすみがうら"へー

前期基本計画以降に必要度が高まった項目 大震災の経験を踏まえた視点

前期基本計画から継続して必要な項目 合併による一体化の推進

行政分野別計画

第1章 自然と調和した快適なまちづくり

第1節 適正な土地利用の推進

第2節 交通基盤の充実

快適な住環境の整備 第3節

循環型社会の形成 第4節

防犯・防災機能の充実 第5節

第2章 健やか・安心・思いやりのまちづくり

健康づくりの推進

高齢者福祉の充実

障害者福祉の充実

第4節 次世代育成の支援

第5節 地域福祉の推進

第3章 豊かな学びと創造のまちづくり

教育の充実 生涯学習の充実 第2節

第3節 青少年の健全育成

地域文化の継承と創造

第4章 活力ある産業を育てるまちづくり

農林業の振興 第1節

水産業の振興 第2節

商工業の振興 第3節

第4節 観光の振興

第5章 みんなでつくる連携と協働のまちづくり

市民活動の支援

男女共同参画の推進

第3節 広報・広聴活動の充実

第4節 行政サービスの向上

市政を総合的かつ計画的 に進めていくために市の将 来都市像を明らかにし、そ の実現に向けた施策の大綱 を示すもので、基本計画や 実施計画を策定するための 基本指針となるものです。

基本構想の施策の大綱に

基本計画に基づいて、現

しながら、施策の優先度、

勘案して定めるものです。

緊急度、効果度を総合的に

基づいて、将来都市像を実

現するために具体的施策を 体系的に示すものです。

基本構想

平成 19~28年度

基本計画

前期 平成 19~23 年度

平成24~28年度

実施計画

平成 19 ~ 21 年度 実の社会情勢の変化に対応 平成 20 ~ 22 年度

平成 27 ~ 29 年度

構成されており、総合計画は、ユ

り、市が各分別、基本構想、

『が各分野においてな本構想、基本計画、

いて策定する様々

-代田町合併協議

まちづくり

の最上位計画

計

曲

要

圓企画課☎内線 1563

3つの「重点プロジェクト」を設間に重点的・積極的に展開する後期基本計画では、今後5年

今後5年

曲

重点プロジェク

人(全6回)でご紹介しま

像や基本理念を踏まえるととも

設定にあたっては、

将来都市

8月 まちづくりアンケ

することを前提としました。

ま

10月 まちづくり座談会

前期基本計画の命題を継続

※毎年度見直し

平成 28 ~ 30 年度 策定の趣旨 霞ヶ浦町・千

度までの5カ年を計画期間とし 効率的な行財政運営を図ること 識を十分に認識し、 かれている新たな状況と市民意 「後期基本計画」は、 平成24年度から28 計画的かつ 本市が置

います。一方、高齢社会を迎え取り巻く状況は厳しさを増して大きなうねりを受け、わが国を 行政需要への対応が求められて 情勢の変化と相まって、 観やニーズの多様化など、 る中での福祉施策、 しか

を踏まえつつ、 会が策定し 総合計画」を策定し、 財政運営に取り組んできまし 世界的な経済情勢の た「新市建設計画」 平成19年3月に 市民の価値 計画的な

設定しました。 5年後を見通した「数値目標」を 来都市像を実現して 合的なまちづくりの方針です いく必要があり このようなことから、 **うます**。 後期基

標の内容は、 主な施策について、 次回以降のシリ 具体的な数値目

平成24年

2 月

(答申)

今後の地震への対策を最重点項 目としてとらえました 先の大震災からの復興と、

までがひとつにまとまった、総策から市が目標とする政策理念総合計画は、個別の事業や施 各施策を計画的に推進して 基本理念に基づき将 いくため

第3回総合計画審議会

市民の意見公募手続き 施策指標の見直し作業

10 月 (諮問)

検討

ての意識調査東日本大震災を踏まえ

月

第1回総合計画審議会 施策指標作成:

画策定の視点としまし

さら

平成23年

くりに関する意見を集約し、

市民が感じているまちづ

トや座談会などを

ワークショップ中学生と高齢者の交流

月

7月 まちづくり絵画・作平成22年

策定の主な経過後期基本計画の

作文

7 かすみがうら